



柳田國男生家

ふくさき



ぼくたち・わたしたち よい歯が自慢!
3歳よい歯のお祝い会

3

2017
(平成29年)
No. 603

第11回民俗辻広場まつり

- 観桜会
- もちむぎまつり
- ボランティアまつり

日時：4月8日(土) 9:30～15:00

場所：第1グランド駐車場・もちむぎのやかた周辺
(雨天一部開催)

歴史民俗資料館 企画展「神崎郡長 倉本^{れきざん}櫛山展」

柳田國男・松岡家記念館

松岡映丘画稿展「やまと絵風景画の美」

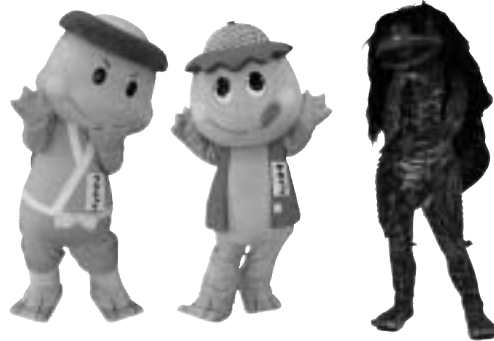


イベント

民話の語り・紙芝居・楽器演奏・ダンス・踊り・福祉体験・スタンプラリー・宝さがしほか

イベント等の内容は変更となる場合があります。後日のチラシでご確認ください。

フクちゃん・サキちゃん・ガジロウもやってくる!



会いに来ておめでとう!

「観桜会」開催のお知らせ

今年も観桜会は民俗辻広場まつりと同時開催!

桜を見ながら、春のひとときをお楽しみください。



日時 4月8日(土) 10:00～15:00

場所 柳田國男・松岡家記念館前

内容 お茶席

キャラクターグッズ等販売



(観光協会)

2月12日、今回で4回目となった福崎町の歌の祭典「ふくさき紅白歌合戦」がエルデホールで開催されました。今年は少数精鋭の戦いとなり紅組(女性)、白組(男性)各9組が熱い戦いを繰り広げました。

紅組は豪華な衣装と歌唱力で会場を楽しませてくれました。ダンスでも魅せてくれました。

応援合戦では、紅組の応援のマイフレンドさんが優雅なフラダンスを披露されました。白組の応援には福崎西中学校生徒会のみなさんと西中キャラクター「ふくにつしい」が駆け付け、白組を盛り立てました。

団体戦の結果は、昨年連覇を阻まれた紅組が見事勝利しトコフィーを奪還!!今年から設けた審査員特別賞は、癒やしの歌声で会場を魅了した白組の埴岡功基さんが受賞されました。

歌とパフォーマンスでみなさんを元気にしてくださった出場

**聴かせてくれました!
魅せてくれました!
平成28年度
「ふくさき紅白歌合戦」は
紅組の勝利!!**



審査員特別賞
埴岡功基さん

勝利した
紅組代表
大塚記美代さん



者の方々、また熱い声援をくださった会場のみなさん、本当にありがとうございました!



行事予定(3月18日~4月5日)

月	日	曜日	時間	行事
3	18	土	11:00	おはなし会
3	25	土	11:15	子ども映画会「ウルトラマン」
4	5	水	11:00	えほんのじかん

4月6日第1木曜ですが開館します

フクちゃん読書の日

3月25日(土)

(午前の部) 10:00~12:00 小学生以下対象

図書館クイズ・図書館探検・おはなし会

映画会『ウルトラマン』

スタンプラリーあり

(午後の部) 14:00~16:00

中高生以上対象

映画会『夏の庭』

特典 本の装備(希望者には映画鑑賞後指導)



蔵書点検のお知らせ

図書館の本を1冊ずつ点検しますので、

4月11日(火)~19日(水)は休館します。



蔵書点検にともない、

3月28日(火)から4月9日

(日)の貸出を4週間20冊に

変更します。

新 着 図 書

八千種研修センター 図書室

☎22-1564

一般書13冊

「小説君の名は。」 新海 誠

「八月は冷たい城」 恩田 陸

エルデホール催物のご案内

4月の催し ● 4月9日(日) ● チケット好評発売中!

【住民企画事業】「ワタナベフラワーライブ」

出演/ワタナベフラワー

開演/15:30(開場15:00)

1部 ダンス&ボーカル
コンテスト

2部 ワタナベフラワー
ライブ



入場料/【全席自由】

おとな2,200円 こども1,100円

(友の会会員:おとな2,000円 こども1,000円)

こどもは3歳以上高校生以下。3歳未満のお子
さんは保護者1人につき1人ひざ上鑑賞無料。

お席が必要な場合は有料です。

企画/山田文庫

主催/福崎町・福崎町教育委員会

「誰にでも分かりやすく、楽しい音楽」を目指
し2001年に結成された神戸発ワクワクロックンロー
ルバンドの「ワタナベフラワー」。彼らの公演は何
が飛び出すかわからない”おもしろライブ”です。

1部ではダンス&ボーカルコンテストを開催。2
部では応募してくれたこどもたちがワタナベフラ
ワーと一緒に踊ります。こどもたちの活躍にも期待し
てください。

「ワタナベフラワーライブ」出場者募集

1部 ボーカル&ダンスコンテスト部門

課題曲

ダンス部門:ワタナベフラワー「てんとうむし」
(NHKみんなのうた)

ボーカル部門:坂本九「上を向いて歩こう」

応募条件

- ・居住地は問いません。
- ・個人でも団体でも可(団体の場合は7人まで)。
- ・プロによる振り付けは不可とします。

募集数 制限なし。ただし、応募多数の場合、ラ
イブ前日に予選を実施し、選考された各部門3組
が当日出場となります。

2部 こどもたちダンス参加部門(小学生以下対象)

ダンスなんてしたことがない子も大歓迎。簡単な
振り付けです。舞台にたってワタナベフラワーと共
演しましょう。

課題曲 ワタナベフラワー「左右」

募集数 40人程度(先着順)

応募方法 ライブチラシ裏面の応募用紙に必要
事項を記入の上、福崎町エルデホールまで提出
してください。(郵送又はFAX可)

応募締切 3月15日(水)必着

参加費 無料

チケットのご予約・お申込み・その他お問い合わせは
エルデホール(☎23-1655 fax23-1656)まで
木曜日休館

E-mail erude@town.fukusaki.hyogo.jp

http://www.erude.town.fukusaki.hyogo.jp/

食育通信

～みんなで食育を実践しよう～

学校給食で使用する野菜の 約3割を提供

第2次食育推進計画では、学校給食での地場農産物(米と野菜)の利用度を平成32年度までに42%(重量ベース)とする目標を定めています。

この取り組みは、地元農家をはじめ、JA、給食センター、農林振興課等が一丸となり、「子ども達に安全安心な地元の旬な野菜等を食べてほしい」という熱い思いで活動しています。

28年度のテーマは学校給食に欠かせない「玉ねぎ」。姫路農業改良普及センターやJAの指導

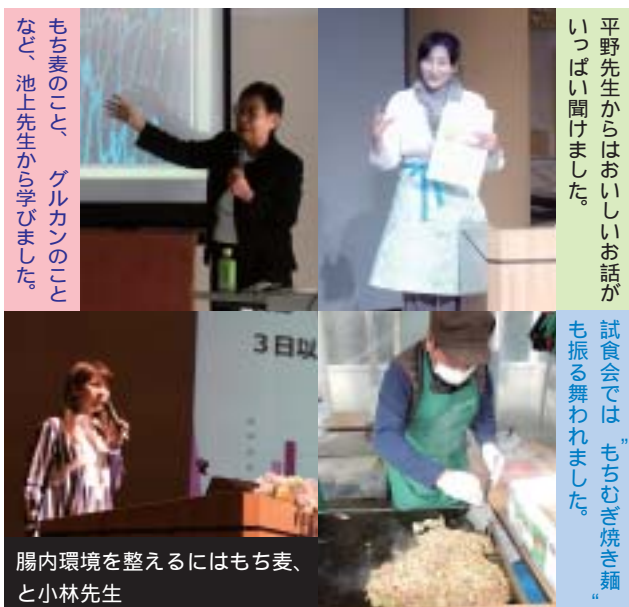


を受けながら、安定供給できるよう努めています。

お問い合わせは農林振興課、給食センターまで。

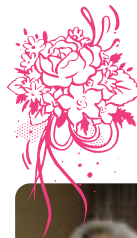
もっと知ってほしいもち麦のこと

2月19日に開催した、もち麦の可能性を考えるフォーラムpart4には、町内外から約250人の参加がありました。



腸内環境を整えるにはもち麦、と小林先生

高い健康効果で、今、注目されている「もち麦」。改めて、福崎町特産「もち麦」を見つめなおす絶好の機会となりました。



満百歳!

おめでとうございます



2月9日、西光寺の「中井まさ子」さんが満百歳を迎えられました。

ほがらかで、毎日明るくお過ごしになっています。

今後もますますお元気で、さらなるご長寿をお祈りします。

なお、百歳をお祝いして、百歳の森記念碑に、お名前を刻みました。

(健康福祉課)



“こころ豊かなふくさき”を願って

“オープンガーデン2017”開催!

花を愛でる季節がやって来ました。

今年も中播磨地区において「ハートフルガーデン中播磨」の会員が丹精込めて作った自慢の庭を一般公開します。

花が好きな方、これから花作りを始められる方、どうぞお誘い合わせのうえご来場ください。

4月15日(土)～30日(日)

・橋本美千代宅(馬田)

4月21日(金)～5月10日(水)

・山田威史宅(山崎)

4月21日(金)～23日(日)

・尾上定信宅(南大貫)

4月21日(金)～5月21日(日)

・もちむぎのやかた(辻川)

5月19日(金)～21日(日)

・澤田芳昭宅(南大貫)



*開催場所・日程を掲載したガイドマップを、3月20日から文化センターでお渡しします。ご希望の方は文化センターへお越しください。

(コミュニティ推進専門員)



町長
橋本省三

もち麦の可能性を考えるフォーラム・パート4を開催しました。

午前の部は生産者を対象に行いました。大麦食品推進協議会の池上幸江会長が「なぜ今もち麦が注目されているか」と題して講演され、もち麦の持つ栄養素が健康維持には欠かせないと話されました。

午後の部では、一般のお客さんを迎え、過去3回のフォーラ

ムで講師を務めていただいた先生方にご講演いただきました。池上会長は栄養価の高いもち麦を知ってほしいと講演をされ、小林メデイカルクリニックの小林暁子院長は、もち麦で腸内環境を良好に保つことが健康の秘訣と話されました。また、平野管理栄養士は「とにかく食べて」と講演後に用意した7品の試食の解説をしてくださり、とても好評でした。

会場内では生産者や兵庫県立大学の学生が作るオリジナル商品の販売もあり、町制60周年記念事業の最後にふさわしく大いに盛り上がりました。次回が楽しみです。

役場職員紹介 第9回



健康福祉課長
三木雅人

までも生活できるような「地域包括ケアシステム」の構築を求めています。このため社会福祉協議会と各自治会に出向き、まずは災害時における地域での支え合い活動などの意義をお伝えしています。

健康福祉課は、子育て支援から高齢者ケア・障がい者(児)支援など、幅広く町民の生活を支える重要な役割を担っています。若者の減少が続く高齢化が進むなか、国は平成37年度までに住み慣れた地域や自宅で、いつ

また、社会保障制度の存続と、次世代への負担をできるだけ少なくするため、国は利用者負担増へと舵を切っています。今後皆様にもご負担増をお願いする場面が出てきますが、ご理解とご協力をよろしく願います。

平成28年度 福崎町女性委員会活動報告

福崎町では、女性の持つ豊かな感性や生活体験を通じた視点による率直な意見・提言を町政に反映させるため、平成22年度から女性委員会を設置しています。委員会は各集落から推薦される33人の委員で構成されています。

今年度の女性委員会は、「男女共同参画」をテーマに計5回の活動を行いました。主な活動は委員33人が5班に分かれてのワークショップです。良いアイデアや提言のきっかけを得るために、姫路市男女共同参画推進センターへの視察も行い、先進的な取り組みを学びました。



また、福崎町の防災について学ぶ回もあり、消防担当職員による講座や、中播消防署職員による心肺蘇生法とAEDの講習会を受講し、非常時における自助・共助の大切さを改めて学びました。

委員会では年間の活動を通して、町に対し、性別や年齢にかかわらず能力や個性が尊重され発揮できる家庭・地域・社会を実現するための提言



を行いました。町長と直接意見を交わすことができ、普段の生活で感じていることや疑問に思っていることなどを伝える良い機会となりました。

来年度も新しいメンバーで、今年度とは異なるテーマと新たな視点から町へ提言・意見をしていきます。





東日本大震災

福崎東中学校3年

見藤星色

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分。大きな地震と津波が、尊い命を奪っていきましました。誰が悪いわけでもない。地震は、私たちの力ではどうにかできるものではないのです。

その当時の私は、小学三年生でした。テレビを見ていても、状況がうまく呑み込めず、テレビの端に書いてあった、「死者・行方不明者」の数はだんだんと増えていく一方でした。その時の私は、かわいそうと思うことしかできませんでした。

亡くなられた方は、約一万六千人。今なお、行方不明の方は約二千六百人。私の想像をはるかに超えました。もし、私の友だちや家族が亡くなっ

てしまったら、家がなくなってしまうたら、自分の町が比べようのないくらい変わってしまったら、自分自身が死んでしまったら。そう思うと怖くて仕方がなかった。でも、当時私と同じ小学三年生で、このような状況にあつてしまつた人もたくさんいるのです。

私が小学四年生の時、役場で働いていた父は、お手伝いをするために、一週間、宮城県南三陸町に行きました。父から送られてきた写真を見て、私は何も言うことができませんでした。それは、建物の上に船がのつていたり、津波の影響でらせん階段がありえない方向に曲がっている写真でした。東北は、一体どうなっているのだらう。私は疑問で仕方がなかつたことを今でも覚えていきます。

昨年の夏、私は家族で東北に行きました。仙台に行くと地震の跡などなく、今の姫路よりも栄えていて、ホツとしました。でも、その奥に行くにつれて、どんどん建物

がなくなつていき、南三陸町に着いた時は、ほとんど何も無い状態。道路の脇には、何も建っていない所に土を盛つた土地。聞こえてくるのは、シヨベルカーの音。五年たつた今、やっと動き出したという状況でした。私は、「つらくないんかなあ。」と思いましたが、でも、皆笑顔であいさつをしてくれました。この人たちのために何かしてあげたいと思いました。ある女のひと話を聞いて、「この隣の保育園は、長谷部が建てたんだよ。」と聞きました。男子サッカー選手の長谷部さんが建てたのです。また、その女の人の娘さんは、当時中学二年生だったそうですが、炊き出しの人手が足りず困っていた時、助けに行つたそうなのです。



福崎小学校2年 廣瀬和恩



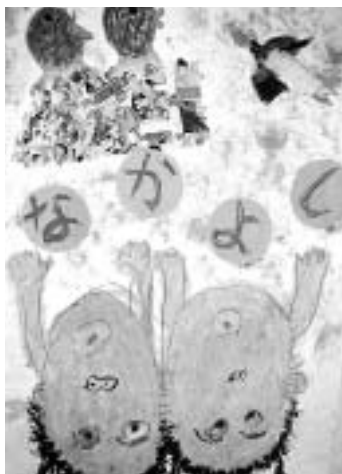
八千種小学校1年 上田樹晟

私が中二の時、そのような状態に置かれたら、他人のために動けたかな、と思いました。きつと娘さんは、人の心配ができる心のキレイな人なんだろうなと思います。そして、何一つ苦労していない私は、東北の人のために何もしてあげられなかつたと、情けなくなりしました。でも、東北の人は辛さを見せず、私が勇気をあげなければいけない方なのに、「来てくださつてありがとうございます。」と温かい笑顔をたくさんくださいました。

私にできることは、とつても小さなことかもしれないけれど、その小さなことで誰かを笑顔にできるなら、役に立つのなら、小さなことでも何かしてあげたいと、私は思います。そして、二〇一一年三月十一日に辛い出来事があつて、今、一生懸命支え合つて生きている人がいるというのを忘れて生きようと思いません。適当に「頑張れ」なんて言えないけれど、私は一日でも早く東北が復興することを願っています。



福崎西中学校3年 牛尾蒼海



田原小学校1年 松本承太郎